

東大阪市養護教育研究会主催おたのしみ会

今年も、東大阪市養護教育研究会が主催している「おたのしみ会」が、11月22日（金）の午前9時40分から午後2時30分まで、東大阪市立市民会館の大ホールで行われました。市内の小中学校の養護学級に通っている児童が毎年楽しみにしている行事です。今年も、中学校が17校、小学校が48校参加しました。児童生徒は約370人、教員が約220人、保護者の方は約380人が来て下さり、熱気に包まれた中で行われました。午前の部では、市養研の会長の挨拶から始まり、市内の小中学校を7つのブロックに分けた各ブロック毎が、練習してきた演技を発表しあいました。まず1番目は、中南ブロックが「ともだちになるために」の手話とわらべ歌を歌いながら遊んで見せてくれました。プログラム2番は、東北ブロックが「みんなでワッショイ」を祭りの曲に合わせて元気よく踊ってくれました。3番目に、西中ブロックが「ミッキーマウスマーチ」の歌に合わせてかわいくダンスをしました。4番目には、東南ブロックが「そらまめくんのベッド」をかわいいそら豆の衣装を着て、劇をしてくれました。5番目に中北ブロックが「大きなおとしもの」という劇をしてから、ダンスをリズムよく踊ってみせてくれました。6番目は西北ブロックが「ピーターパン」の劇を鮮やかな衣装をつけて楽しい演技をみせてくれました。最後に西北ブロックが「カレーライスほっほ」の劇を歌にあわせて元気に踊ってくれました。どのチームも力一杯の演技をしていて、見ていたお友達や保護者から大きな拍手をもらっていました。昼食後の午後の部では、マジックショーやバイオリン奏があり、みんなは楽しんで見ました。最後に、サンタクロースが現われて、子ども達はサンタさんと握手をしたり、一緒に写真を撮ったりしていました。また、サンタさんから、子ども達へボールや虫かごがプレゼントされ、みんな大喜びでした。

最後に、市養研の副会長から児童たちへ演技の頑張りへのほめ言葉とともに、来年も元気に会いましょうという挨拶で終わりましたが、一日があっという間に過ぎた楽しい一日でした。

